

第 1 回 名寄市ゼロカーボンシティ推進委員会

日時：令和 6 年 6 月 10 日（月） 18 時 30 分～

場所：名寄市役所 名寄庁舎 4 階大会議室

1 開 会

2 委 嘱 状 交 付

3 市 長 挨 拶

4 委員長・副委員長選出 [資料1]

5 議 事

(1)世界や国の動向について [資料2]

(2)名寄市の動向について [資料3～5]

(3)各団体の取り組みについて

6 そ の 他

今後のスケジュールについて[資料6]

7 閉 会

[会議資料]

資料1 名寄市ゼロカーボンシティ推進委員会設置要綱

資料2 世界や国の動向について

資料3 名寄市の動向について

資料4 名寄市地球温暖化防止実行計画(事務事業編)について

資料5 名寄市ゼロカーボン推進再生可能エネルギー導入計画について

資料6 今後のスケジュールについて

参考資料 名寄市地球温暖化防止実行計画(事務事業編)

○名寄市ゼロカーボンシティ推進委員会設置要綱

令和 6 年 3 月 25 日 告示第 1017 号

名寄市ゼロカーボンシティ推進委員会設置要綱

(設置)

第 1 条 2050 年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指し、名寄市（以下「本市」という。）における二酸化炭素排出量の削減等のための総合的かつ計画的な施策の推進にあたり、名寄市ゼロカーボンシティ推進委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第 2 条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) ゼロカーボンの推進に関すること
- (2) 地球温暖化対策の推進に関する法律（平成 10 年法律第 117 号）第 21 条に規定する地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定内容の検討及び推進に関すること

(組織)

第 3 条 委員会の委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 市内各種団体を代表する者
- (3) 市内に居住する者から公募した者
- (4) その他市長が必要と認める者

2 委員会は、委員 15 人以内の者で組織し、委員長及び副委員長を置く。

3 委員長及び副委員長は、委員会の委員の互選により選出する。

4 委員長は、委員会の会務を総理し、委員会を代表する。

5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときに、その職務を代理する。

6 委員の任期は、2 年とし、再任を妨げない。

(会議の招集)

第 4 条 委員会の会議は、委員長が招集し、議長となる。ただし、委員長が選任される前においては、市長が招集する。

2 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者に会議の出席を求め、意見を聴くことができる。

(庶務)

第 5 条 委員会の庶務は、総合政策部総合政策課において行う。

(その他)

第 6 条 この告示に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この告示は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

第1回 名寄市ゼロカーボンシティ推進委員会

世界や国の動向について

令和6年6月10日(月) 18:30～

場所:名寄庁舎4階大会議室

地球温暖化の影響

乾燥による山火事



<米国 カリフォルニア州>

資料：AFP=時事

感染症の増加



コガタアカイエカ

台風の大型化



<福岡県みやま市 飯江川周辺>

資料：朝日新聞社/時事通信フォト

動植物の絶滅



海面上昇による水没



ツバル

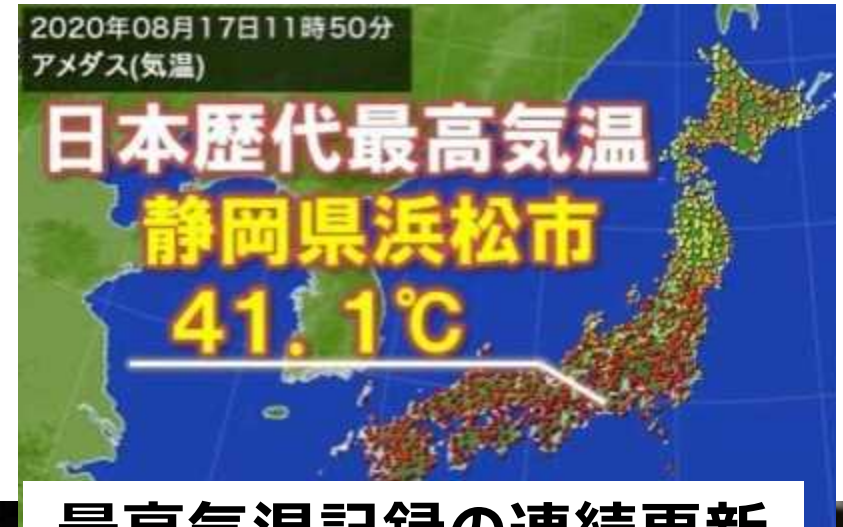
食糧危機



地球温暖化の影響（直近の事例）



海面上昇と洪水で
日本の国土の2倍ある
バングラディッシュが1/3水没

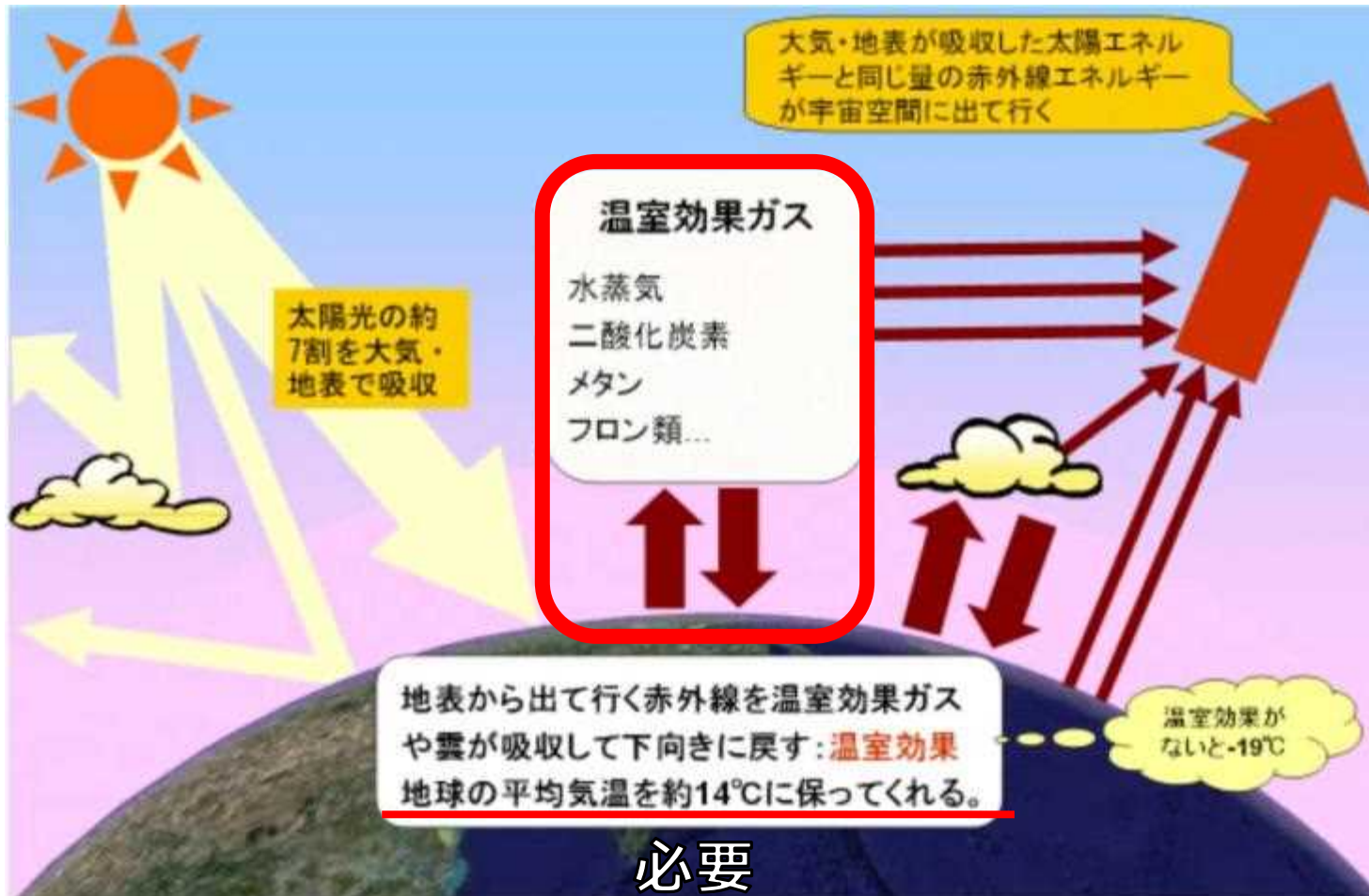


最高気温記録の連続更新



地球温暖化とは

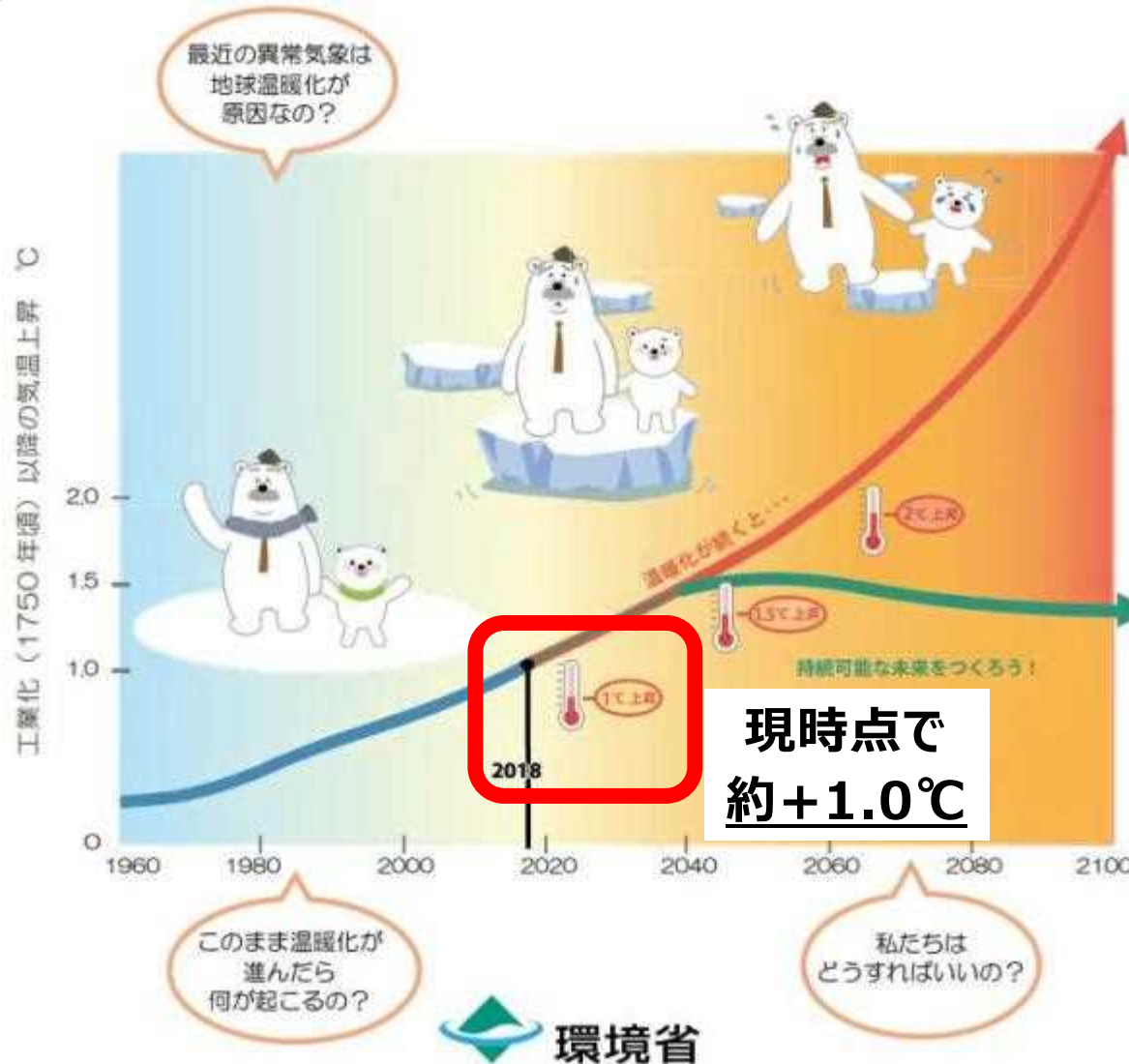
温室効果ガスが大気中に増加
地球の平均気温が上昇する現象



必要

※出典：気象庁 (https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/chishiki_ondanka/p03.html) より

地球温暖化対策しないと・・・



温暖化対策しないと・・・
2100年には
5.7℃上昇してしまう！

影響拡大

温暖化対策すると・・・
1.5℃上昇に抑えられる

影響小

温暖化が進んだら名寄市はどうなる??

低気圧による大雨で
市内に大きな被害



(平成26年8月4日～5日の
大雨による橋の崩落「西風連・初音橋」)

※出典：名寄市地域防災計画より

8月の観測史上1位 35.6℃

平均気温22地点で最高 上川管内8月 記録づくめの猛暑

北海道新聞 <2023年9月4日>

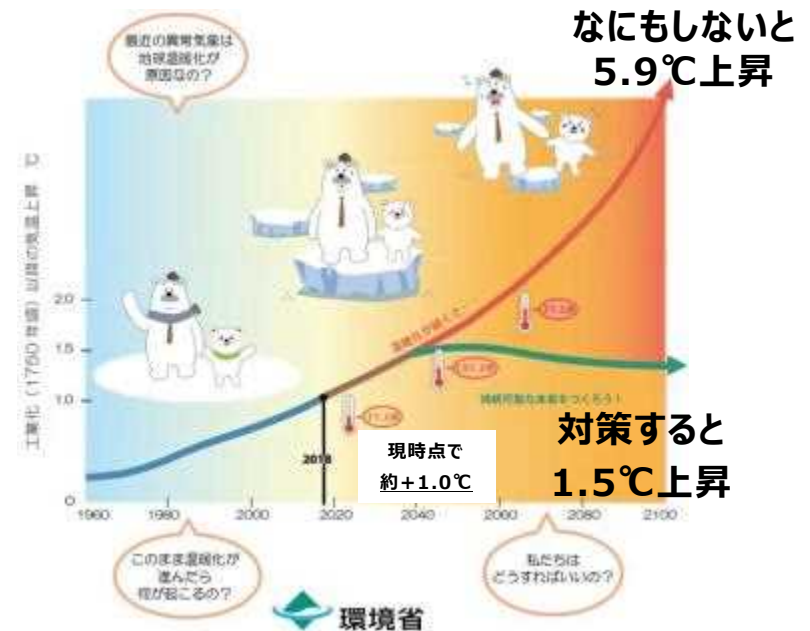
主な地点の平均気温と最高気温		
	8月平均気温	最高気温
旭川	24.6(21.2)	35.5 (8月の観測史上5位)
名寄	23.0(19.9)	35.6 (同1位)
士別	23.1(20.1)	34.5 (同5位)
富良野	24.4(20.8)	36.3 (同2位)
南富良野町幾寅	23.0(19.2)	34.9 (同1位)

(注)単位は度。平均気温内のカッコは平年値

カーボンニュートラルに向けた国内外の動向

【国際社会の動向】

2021年：気温上昇を1.5℃まで抑制することが世界の共通目標として合意(COP26)



【国内の動向】

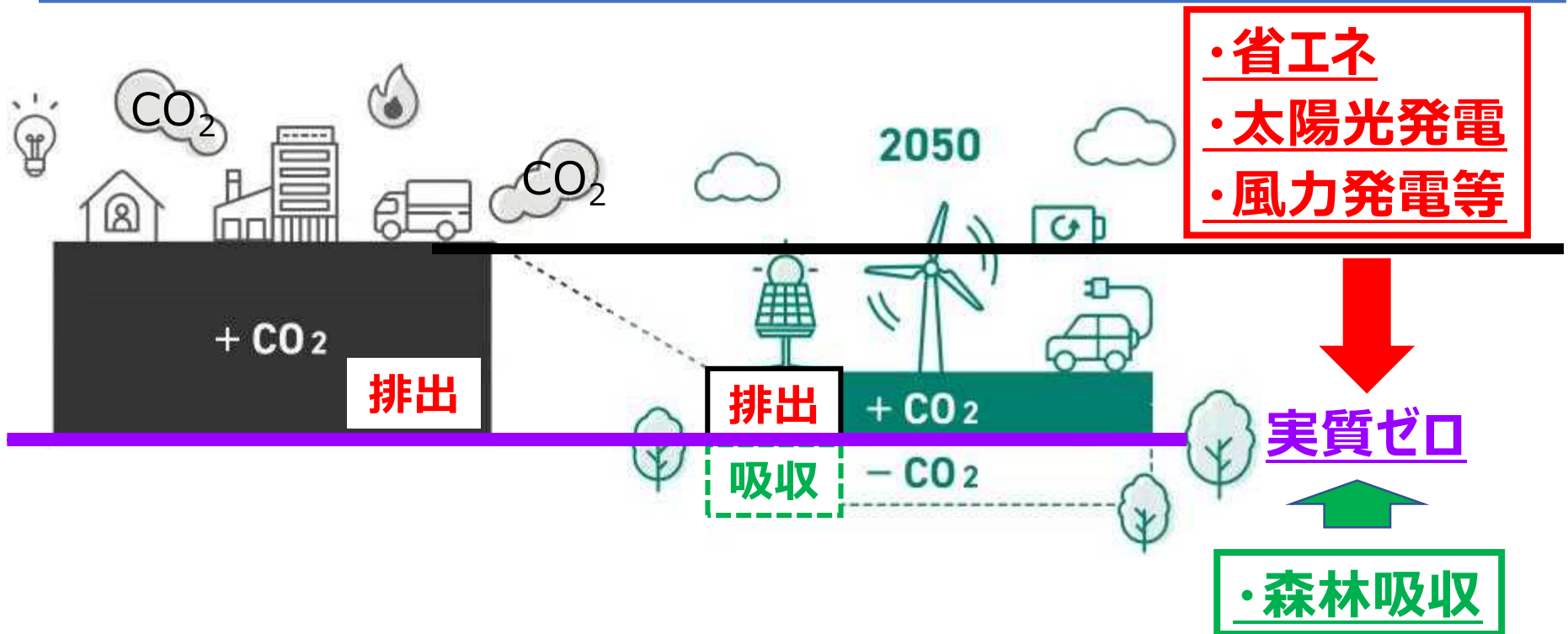
- ・2020年：2050年までにカーボンニュートラルの実現を目指すことを表明
- ・「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」を策定し、「環境と経済の好循環」につなげる産業政策を打ち出す。
- ・2021年：環境省「地球温暖化対策計画」が閣議決定
2030年度において、2013年度比で
温室効果ガス46%削減を目指すことを表明



※出典：首相官邸ホームページ

カーボンニュートラルとは

カーボンニュートラル（※「カーボン(**C**arbon)」=「炭素」）
二酸化炭素(**C**O₂)などの温室効果ガスの「**排出量**」から、森林による「**吸収量**」を差し引いて、**実質ゼロ**にすること。



温室効果ガスを**実質ゼロ**にして地球温暖化を食い止めたい

名寄市の動向について

名寄市ゼロカーボンシティ宣言

市民、事業者、市（行政）が一体となって脱炭素社会の構築を目指すため、「名寄市ゼロカーボンシティ宣言」（2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロ）を令和3年11月4日に表明。

↓ 同じ意味 ↓

カーボンニュートラル = ゼロカーボン = 脱炭素



名寄市の取組

平成19年度～ 名寄市地球温暖化防止実行計画(事務事業編)

●地球温暖化対策に関する行政の計画



- ・CO2をどれくらい出している？
- ・どんなエネルギーを使用している？
- ・どれくらい削減するか？

さらに

- ・具体的な取組を考える
- ・計画を進めるために、名寄市地球温暖化防止実行計画推進委員会を設立する

名寄市の取組

令和4年度 名寄市ゼロカーボン推進再生可能エネルギー導入計画

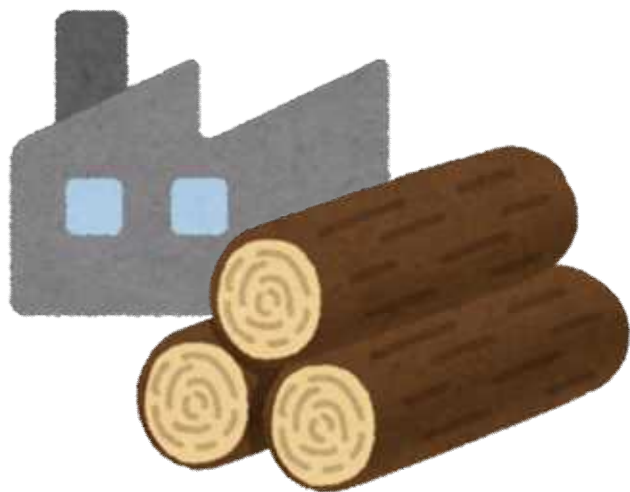
● 名寄市で活用できる再生可能エネルギー量の調査



- ・将来のエネルギー消費量
- ・どれくらい発電できる？
- ・再生可能エネルギーがどの位必要なの？
- ・再エネ導入後どんなまちになるか

さらに

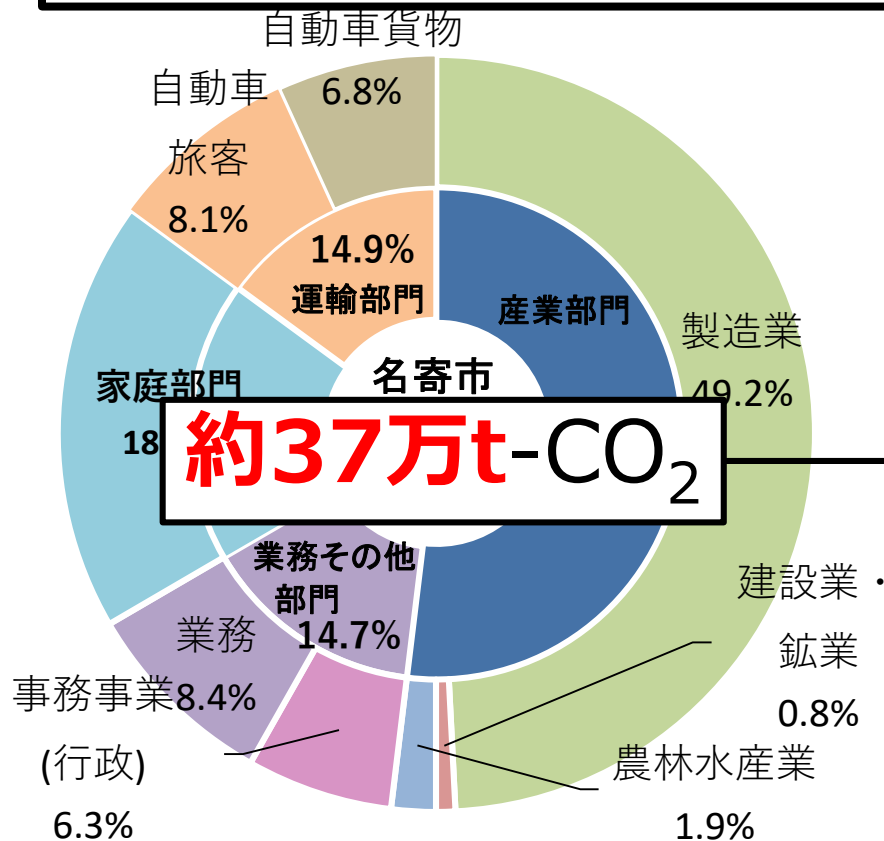
- ・カーボンニュートラルを知ってもらう
- ・皆で目標達成の取組を考える



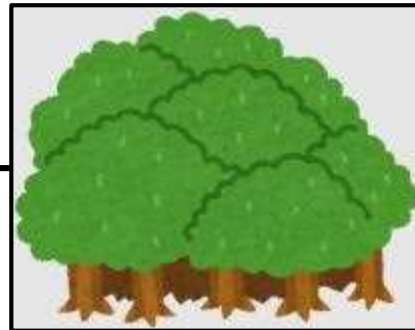
ここでクイズです

クイズ

名寄市のCO₂を実質ゼロにするにはどうしたらよいでしょう？



Q1 森林のみ



どれくらい必要??

名寄市の面積が

1. 半分
2. 1個
3. 5個

Q2 ソーラーパネルのみ (250W/枚)



何枚必要??

1. 200枚
2. 200万枚
3. 2億枚

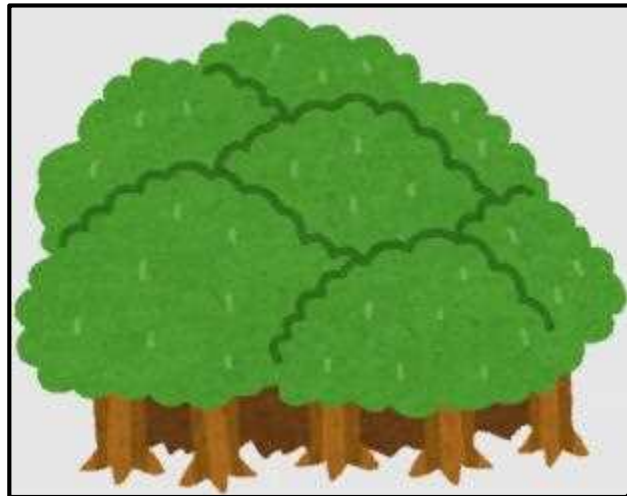
名寄市ゼロカーボン推進再生可能エネルギー導入計画計画書より作成

資源エネルギー庁「カーボンニュートラル」って何ですか？(前編)」に加筆

https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyo/carbon_neutral_01.html

答え：Q1：選択肢1 Q2：選択肢2

森林のみ



面積比
約18倍

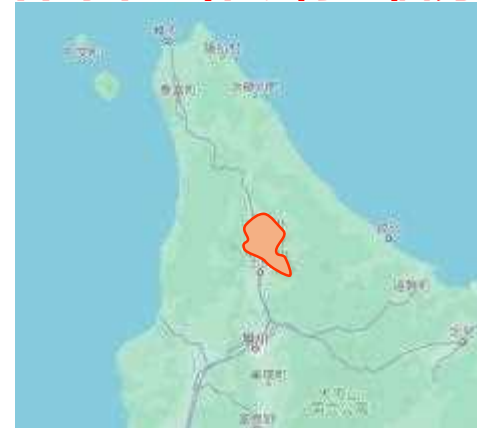


ソーラーパネルのみ
約200万枚

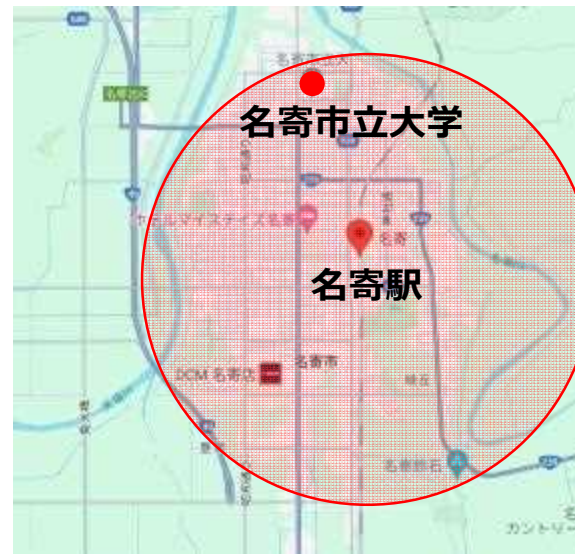


森林面積

名寄市全体の約1個分



太陽光パネル設置範囲が
半径3km（名寄駅から名寄市立大学）



どちらも
非現実的

答え：Q1：選択肢1

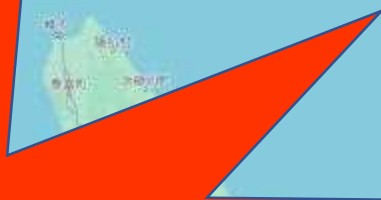
Q2：選択肢2

森林のみ



森林面積

市全体の約 1 個分



このままでは
カーボンニュート
ラル達成は厳し
い！！

山が
(名寄市立大学)

名寄市立大学

名寄駅



パネルのみ
約200万枚

2問目のクイズです

クイズ

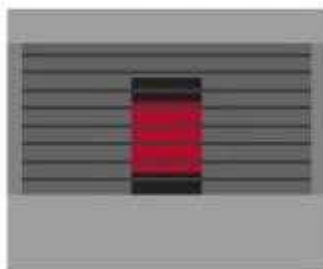
冬の暖房のうち、どれが省エネ？

① とうゆ 灯油ストーブ

② エアコン

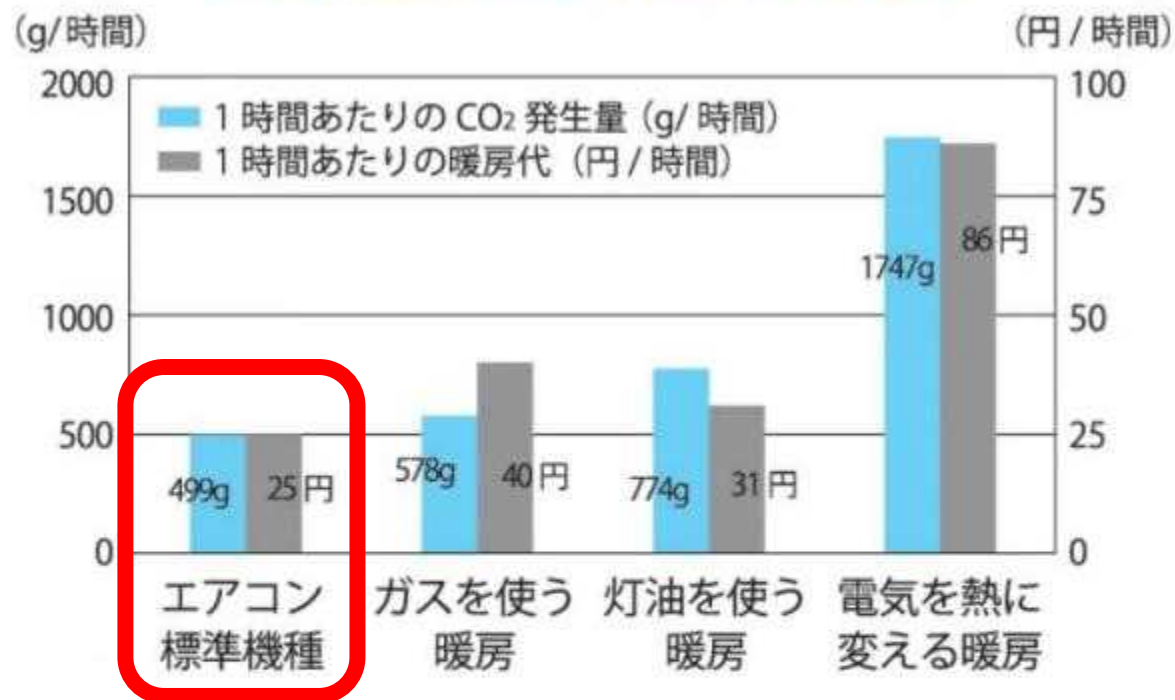
③ ガスストーブ

④ でんき 電気ストーブ



答え：選択肢2 エアコン

暖房機器別 CO₂ 発生量と暖房代



※8 畳間、外気温 0℃時、木造住宅における暖房負荷による計算
電力 CO₂ 係数 0.55kg-CO₂/kWh、エアコンの COP は 3.5 として計算
出典) ひのでやエコライフ研究所推計

※注意：上記の数値は、外気温が 0℃の時を想定して算出されています。極端に寒い時にはこれより効率が落ちます（暖房できないわけではありません）

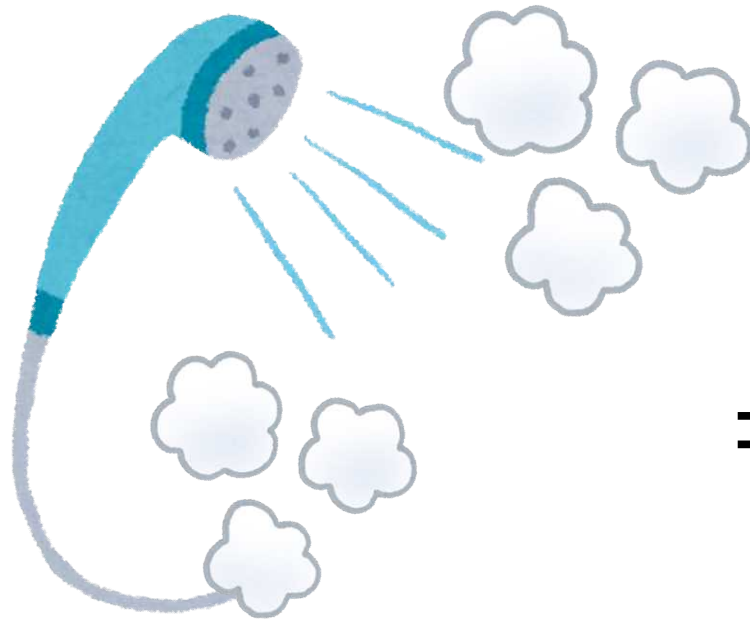
ひのでやエコライフ研究所の協力を得て当センター作成

**エアコンは
省エネでお得**

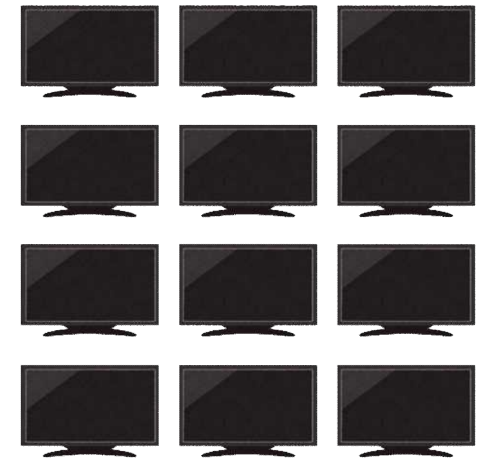
シャワーに必要なエネルギーは、テレビ何台分？

- ・シャワーを10分間（毎分10リットル）
- ・テレビを10分間

答え：選択肢3 約200台



=



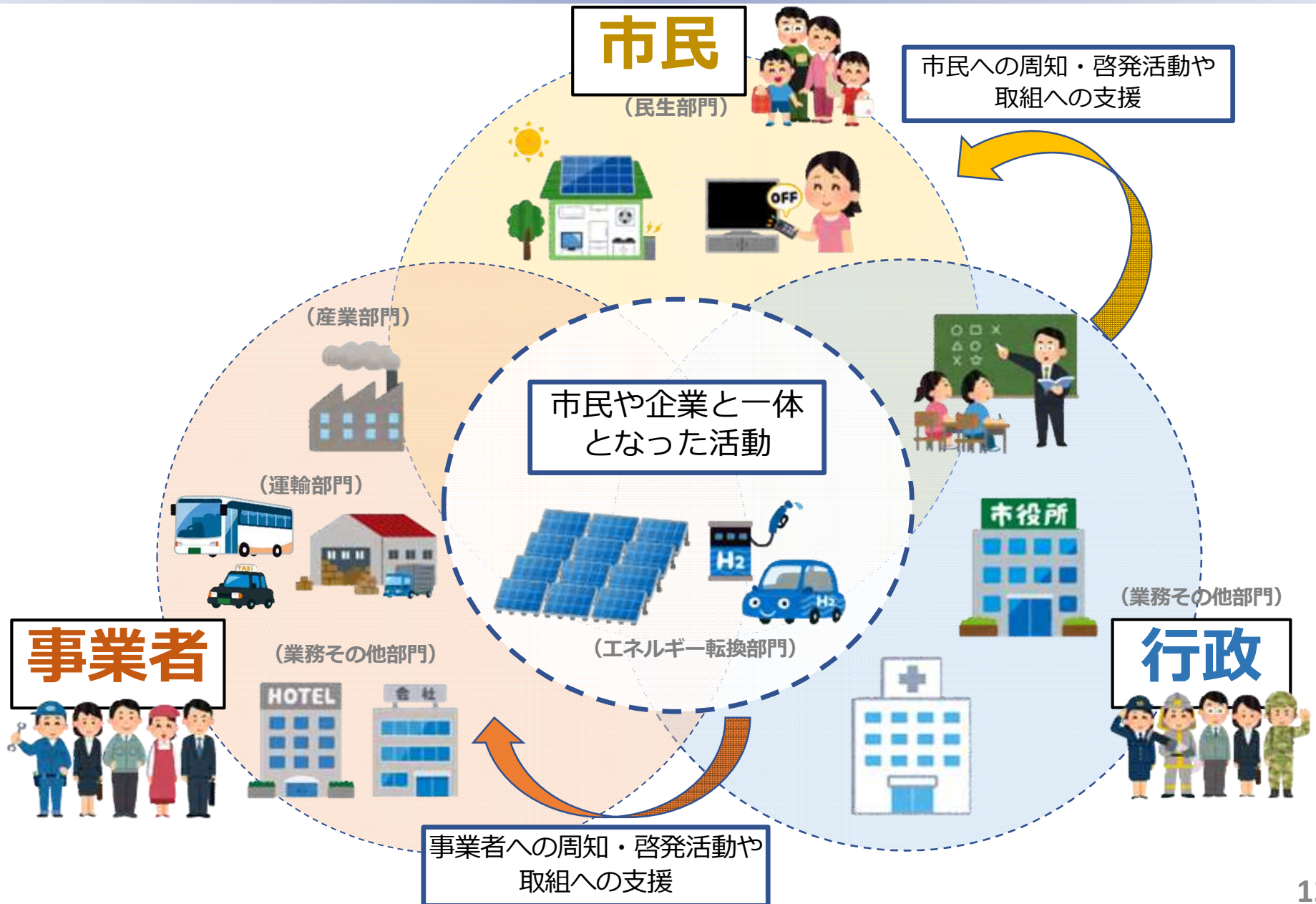
⋮

10L/分・10分間
水を40度に温め

175台分

シャワーをこまめに
止めて省エネ対策

実現には皆が一体となって取り組む必要があります。

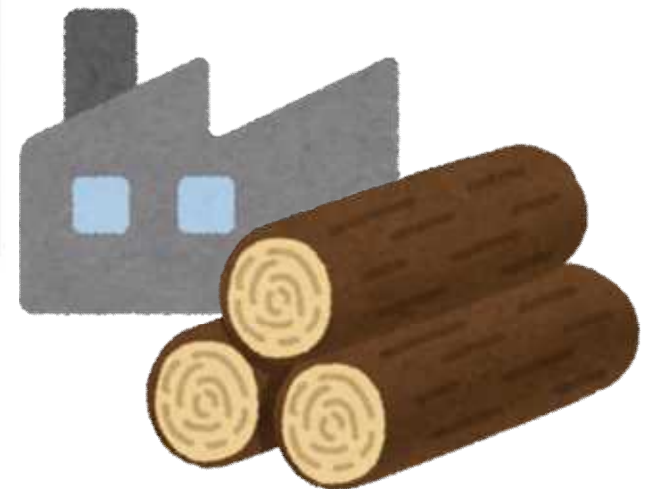
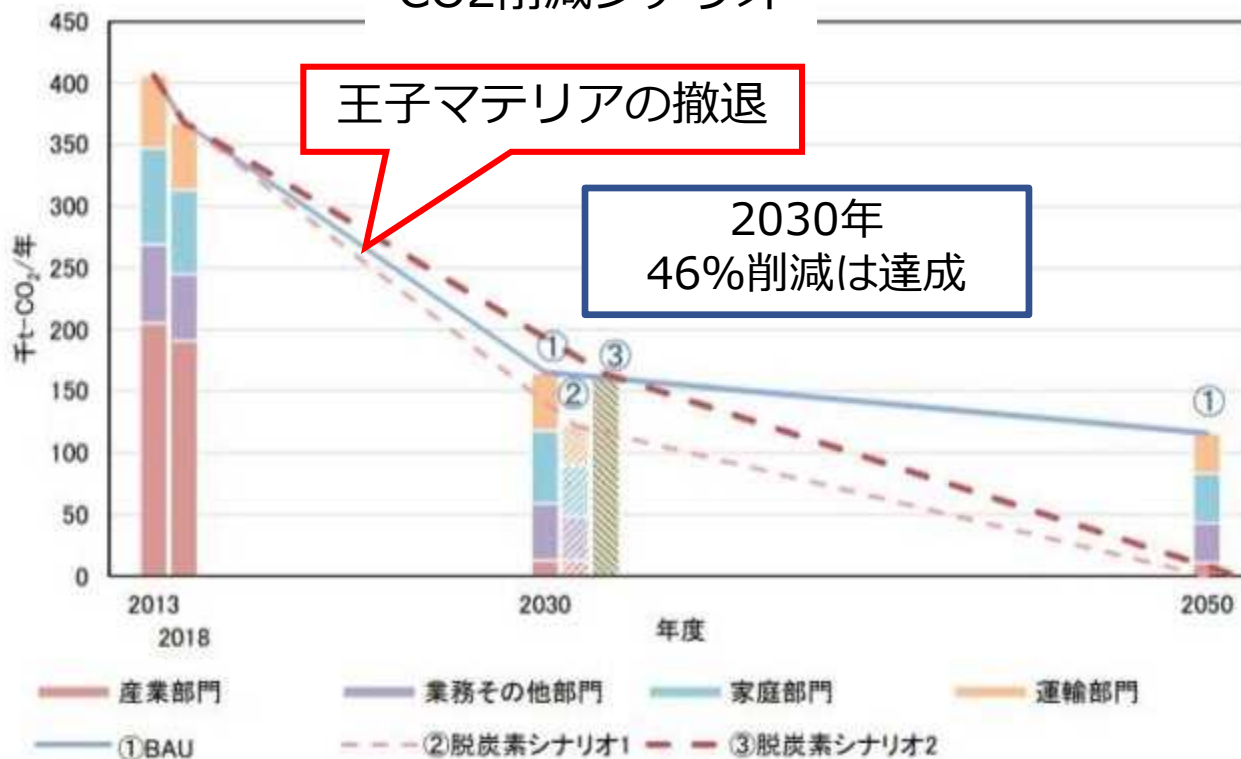


名寄市の取組

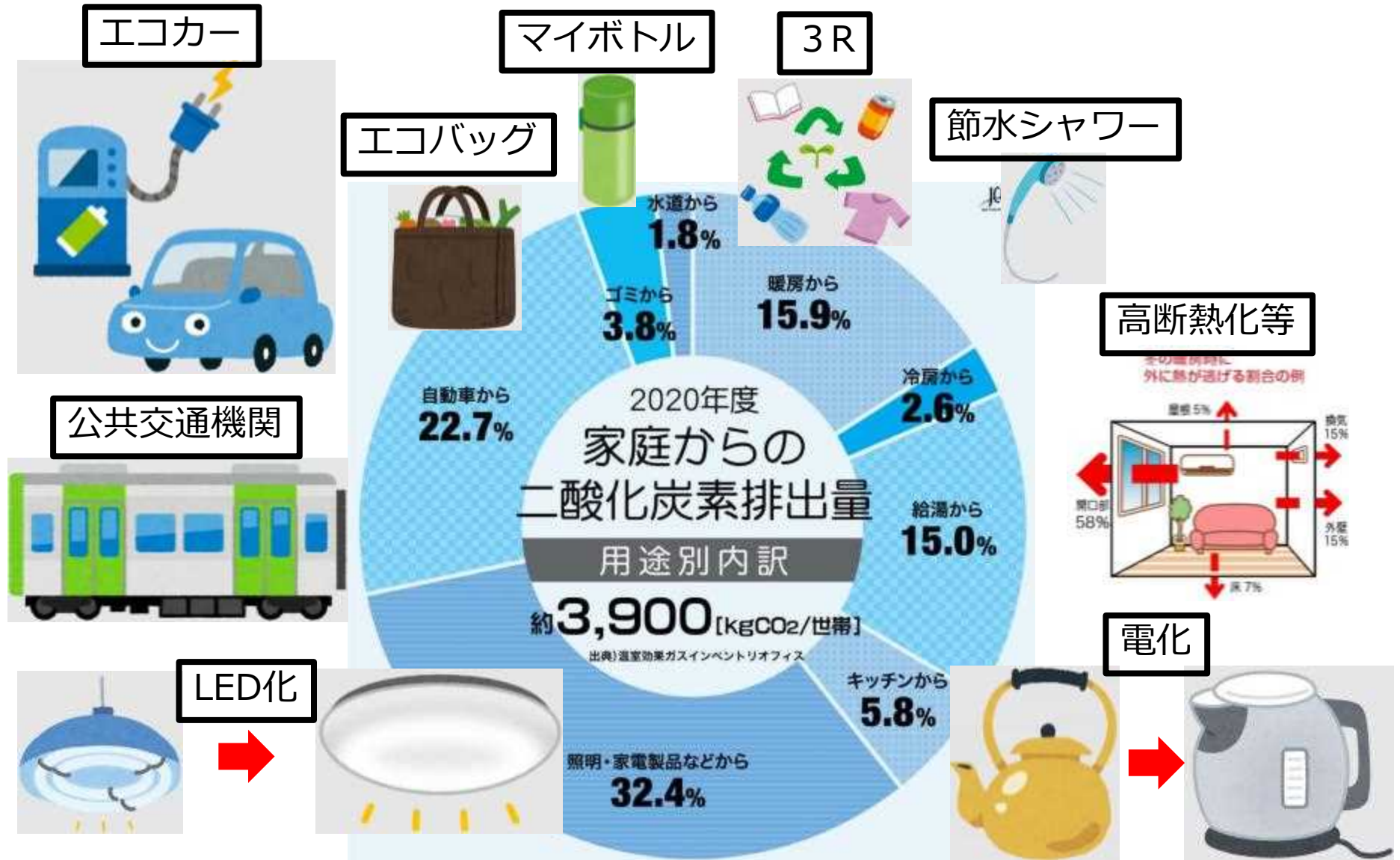
令和6年度 名寄市地球温暖化防止実行計画(区域施策編)

- カーボンニュートラル実現に向けた具体的な計画づくり
- 地球温暖化対策に関する市全体の計画

CO2削減シナリオ



私たちができる脱炭素の取組例



※出典：温室効果ガスインベントリオフィス／
全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<https://www.jccca.org/>) より

まとめ

- ・このままでは世界の気温が5.7度上昇してしまう
 - ・世界や日本でも地球温暖化の影響が既に表れている
 - ・世界では、2050年までに、温室効果ガス排出量の「**実質ゼロ**」を目標としている
 - ・名寄市も、目標達成に向けて活動始める
- ★皆で知恵を出し合い、脱炭素の取組が新たなまちの発展や魅力になるよう、市民や事業者、市が一体となって取り組むことが必要

1. 名寄市地球温暖化防止実行計画（事務事業編）について

1) 計画の概要

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律の第 21 条第 1 項に基づく計画。
- ・名寄市が行う事務・事業から排出される温室効果ガスの抑制にむけ、削減の数値目標、取組内容などを定めている。

【第 4 次計画】

計画の策定 令和 4 年 2 月
 計画期間 令和 4 年度～令和 8 年度
 削減目標 CO₂ 排出量 ▲ 4 % （基準年 令和 2 年度）

	R2 実績 CO ₂ (t)	削減目標	R8 目標 CO ₂ (t)	CO ₂ 排出 削減量	使用量ベース
電気	12,961	▲ 6%	12,183	▲ 778	▲ 1,311,381 kwh
A 重油	10,295	▲ 2%	10,089	▲ 206	▲ 75,988 0
灯油	1,494	▲ 2%	1,464	▲ 30	▲ 12,005 0
軽油	379	▲ 5%	360	▲ 19	▲ 7,326 0
ガソリン	229	▲ 5%	218	▲ 11	▲ 4,944 0
液化石油ガス (LPG)	237	0%	237	0	0
合計	25,595	—	24,716	▲ 1,054	—

2) 計画の推進体制

この計画の推進にむけて、2つの委員会が設置されています。

- ・地球温暖化防止実行計画推進委員会
→計画の進捗状況、推進方法の点検、評価、見直し等を行う。部長職で構成
- ・地球温暖化防止実行計画推進専門委員会
→地球温暖化防止実行計画推進委員会の指示のもと、所属職員の地球温暖化防止の取組を指示、監督する。公共施設を所管する課長職のうち、市民部長が指名するもので構成

3) 特徴的な取り組み

①燃料使用量調査

- ・毎年、各部署より公共施設での燃料使用量、省エネの取組等の報告を受ける。
その後、CO₂ 排出量の計算、増減の要因分析等を行い、推進専門委員会等に報告。

②公共施設における太陽光パネルの設置

- ・現在、名寄小学校、南小学校、智恵文小中学校、認定こども園あいあいの4ヶ所に設置されている。

③公共施設照明のLED化

- ・令和3～5年度で、リース方式による公共施設照明LED化を実施。(全33施設)
施設一覧

R3	R4	R5
テニスコート	北国博物館	風連国保診療所
学校給食センター	名寄小学校	ふうれん健康センター
福祉センター	名寄西小学校	名寄東中学校
名寄東小学校	スポーツセンター	中名寄小学校
風連中学校	風連庁舎	ふうれん地域交流センター
風連スキー場	保健センター	サンシャインホール
名寄庁舎	文化センター	健康の森管理棟
大学1号館、2号館	しらかばハイツ	天文台
リサイクルセンター	智恵文多目的研修センター	道の駅「もち米の里なよろ」
清峰園	風連B&G海洋センター・ 風連農村環境改善センター	なよろ温泉サンピラー
フォレスト (ピヤシリ体育館)	大学3号館・3号館体育館・ 多目的ホール	
上川北部人材センター		

④その他

- ・「みんなの消費生活展」への出展。(R5.10.7)
省エネに関するパネルの展示、省エネクイズを実施し、来場者が節電や地球温暖化防止について改めて考えるきっかけになった。
- ・『「ゼロカーボン」を親子で学ぼう』を開催。(R6.1.8 親子20名の参加)
パナソニック株式会社エレクトリックワークス社の方を講師に招き、親子でソーラーランプキットを組み立てながら、ゼロカーボンを学ぶ機会となった。

【参考】

1. 令和4年度 CO2排出量

・CO2排出量 23,961 t 前年度比▲6.2% 基準年度比▲6.4%

	CO2の排出量 (t)					エネルギー使用量 (電気：kwh、A重油～ガソリン：ℓ、LPG：kg)				
	基準年	前年	1年目			基準年	前年	1年目		
	R2	R3	R4	基準比	前年比	R2	R3	R4	基準比	前年比
電気	12,960	13,164	11,738	▲ 9.4	▲ 10.8	21,856,345	21,904,018	21,380,904	▲ 2.2	▲ 2.4
A重油	10,295	10,165	9,907	▲ 3.8	▲ 2.5	3,799,412	3,751,381	3,656,187	▲ 3.8	▲ 2.5
灯油	1,494	1,395	1,479	▲ 1.0	6.0	600,249	560,217	594,082	▲ 1.0	6.0
軽油	379	410	427	12.9	4.1	146,523	158,786	165,285	12.8	4.1
ガソリン	230	241	252	9.7	4.7	98,877	103,591	108,508	9.7	4.7
LPG	237	179	158	▲ 33.5	▲ 11.7	79,113	59,539	52,594	▲ 33.5	▲ 11.7
合計	25,595	25,553	23,961	▲ 6.4	▲ 6.2	26,580,519	26,537,532	25,957,560	▲ 2.3	▲ 2.2

2. 第1次～第3次計画の総括

	基準年目標	結果	結果の概略
第1次計画 H19～H23	基準年：H17 21,706 t 目標：▲5.5%	最終年：H23 20,501 t ▲5.6%	電気使用量は、完全四大化に伴う市立大学・短大での増加。ガソリンは、市町合併等により、名寄風連間の移動が増加。
第2次計画 H24～H28	基準年：H22 21,652 t 目標：▲5%	最終年：H28 28,417 t +31.2%	計画年中の火力発電増加により、電気のCO2換算係数が増（基準年の係数だとCO2排出量は2.2%の増にとどまる）。 よろーな、市立病院精神科病棟、エンレイホールなど公共施設の新築、増改築の影響もあった。
第3次計画 H29～R3	基準年：H28 28,416 t 目標：▲3%	最終年：R3 24,436 t ▲14.0%	公共施設は、広域最終処分場や大学5号館などが増加。豊西・東風連・下多寄小学校が減。その他では、H29街路灯LED化も減少要因。また、電気の係数が減少傾向。

名寄市ゼロカーボン推進再生可能エネルギー導入計画

1. 背景と目的

国内外の動向

- ・ 2015年のパリ協定では、「平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有された。
- ・ 国では2020年に「2050年カーボンニュートラル宣言」を行い、2050年にCO₂排出量実質ゼロ、2030年には2013年度比46%削減を最低限の目標として示しました。
- ・ 本市においても2021年11月に「名寄市ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。

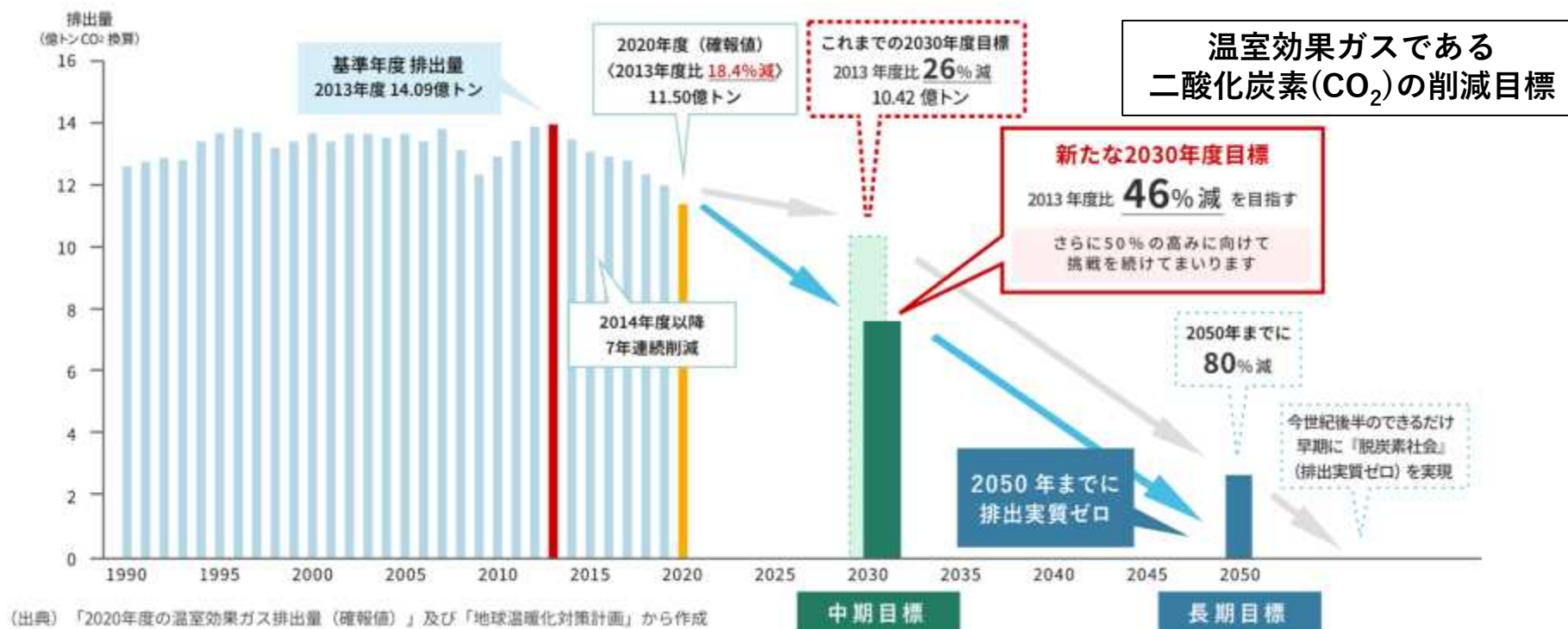


図1 CO₂削減目標の考え方

地域の課題

- ・2021年の製紙工場の停機により、今後の地域経済の持続発展のために、新たな取組を進めていく時期を迎えています。
- ・今後は、再エネ施設整備、地域新電力の活用、物流のゼロカーボン化、コンパクトシティなどの脱炭素の取組を軸として、企業誘致と地域経済の発展を図ることが重要な課題になると考えます。

計画の目的

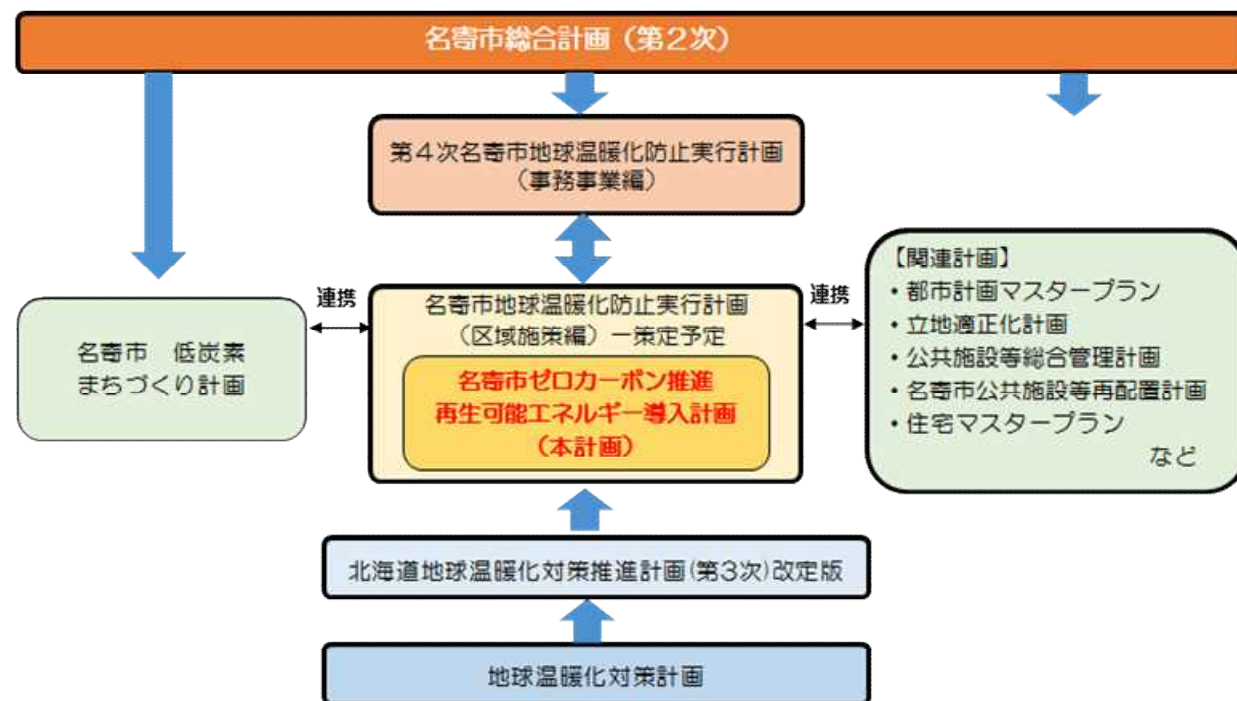
- ・本計画は、名寄市の地域課題を再生可能エネルギーを活用した様々な施策によって解決し、地球温暖化対策への貢献と、地域の持続的な発展を果たすためのビジョンを策定します。

計画の位置づけ

- ・本計画は、国の「地球温暖化対策計画」や道の「北海道地球温暖化対策推進計画(第3次)改定版」を踏まえ、再生可能エネルギー導入に関わる計画として定めるものであり、その他関連計画とともに、本市の脱炭素の取組の方針を示す計画です。

計画期間

- ・国の中間目標年である2030年までとし、今後の社会情勢や新たな産業の創出など変化があった場合には適宜見直しを図ることとします。



関連計画との位置づけと目的

2. 本市の再生可能エネルギー導入ポテンシャル

再生可能エネルギーでどれくらい発電できる？

- ・環境省が公表するデータベースREPOS等を活用し、本市の再生可能エネルギーの導入可能性（ポテンシャル）を表1、図2.3の通り確認しました。
- ・電気では「太陽光発電、木質バイオマス発電」のポテンシャルが高く、また導入も充分可能ですが、風力発電適地は山間部にあり、ポテンシャルは高くても導入が容易ではないと考えられます。
- ・熱では、木質バイオマスと共に地中熱のポテンシャルもあり、活用の可能性があります。この他、雪冷熱などの活用も検討が可能です。

表1 再生可能エネルギー導入ポテンシャル

	大区分	中区分	導入ポテンシャル	
			設備容量 MW	発電量 MWh/年
電	太陽光	建物系	173	192,656
		土地系	2,287	2,539,073
		合計	2,460	2,731,730
	風 力	陸上風力	1,513	3,693,206
	中小水力	河川部	4	19,594
		農業用水路	0	0
		合計	4	19,594
	木質バイオマス*		10	70,000
	畜産バイオマス		0.8	2,132
	地 熱	蒸気フラッシュ	0	0
バイナリー		0	0	
低温バイナリー		0	0	
合計		0	0	
再生可能エネルギー電気合計		3,988	6,516,662	

区分		導入ポテンシャル
熱	木質バイオマス*	1,069,549 GJ/年
	太 陽 熱	167,919 GJ/年
	地 中 熱	1,481,086 GJ/年
	再生可能エネルギー熱合計	2,718,554 GJ/年

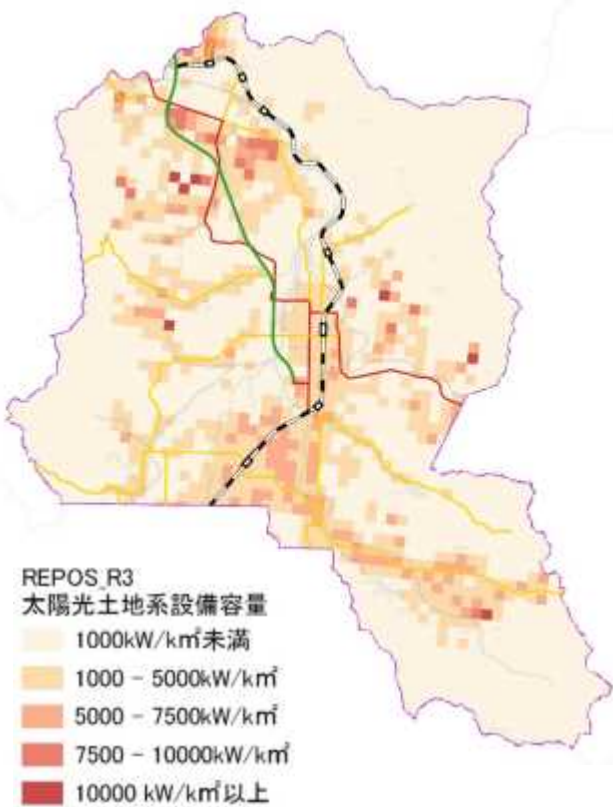


図2 土地への太陽光発電ポテンシャル

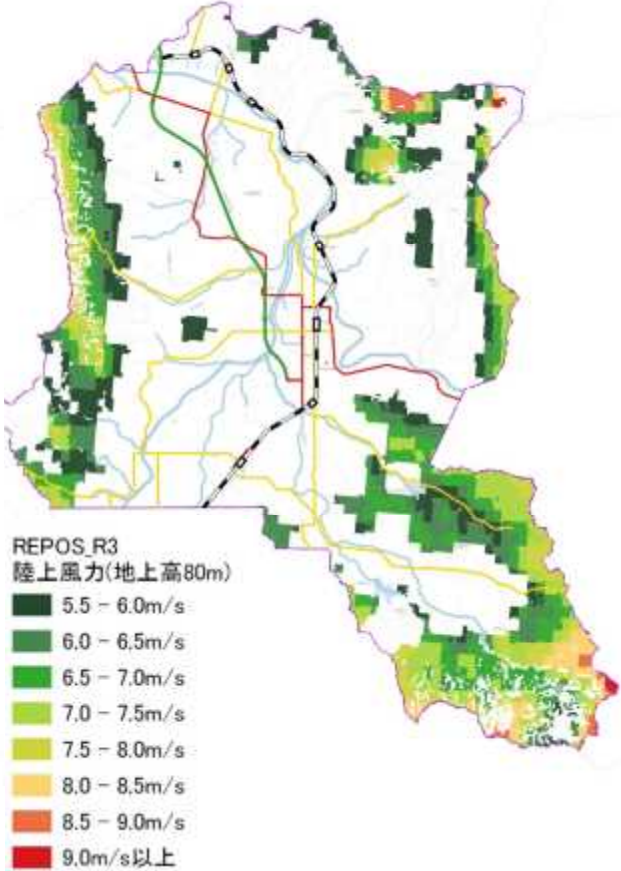


図3 風力発電ポテンシャル

※木質バイオマスは、発電又は熱利用に全ポテンシャルを活用した場合の値

3. エネルギー使用状況と部門間CO₂排出量の現状

- ・ CO₂排出量の基準年を2013年、最新の現状値を2018年とし、エネルギー統計を元に推計しました。
- ・ 本市全体での2018年のエネルギー使用量は4,435千GJとなります。熱利用が約55%で電力は約27%です。
- ・ CO₂排出量で見ると、**製造業**からの排出量が約49%と多くなっていましたが、これは特定排出事業者からの排出量となっていました。この事業者の工場が停機したため、今後の排出量は大きく減少します。

自動車燃料

18.3%

電力

26.9%

熱利用

54.7%

エネルギー使用量4,435千GJ

図4 エネルギー利用状況 2018(平成30)年

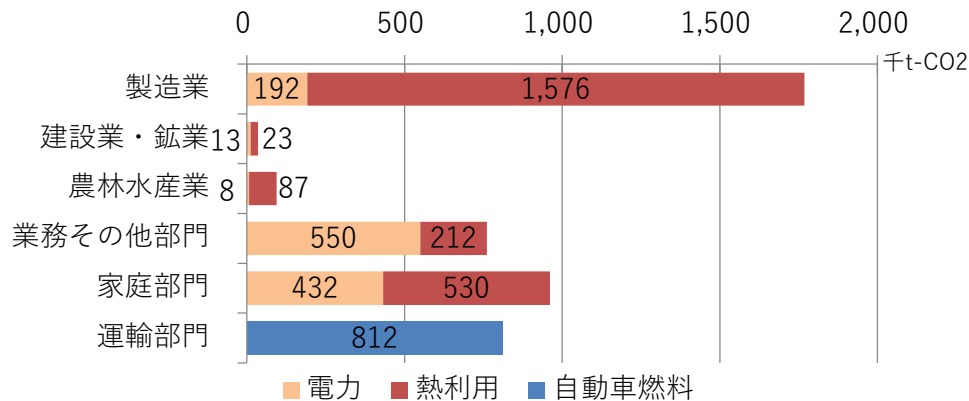


図5 部門別エネルギー利用状況 2018(平成30)年

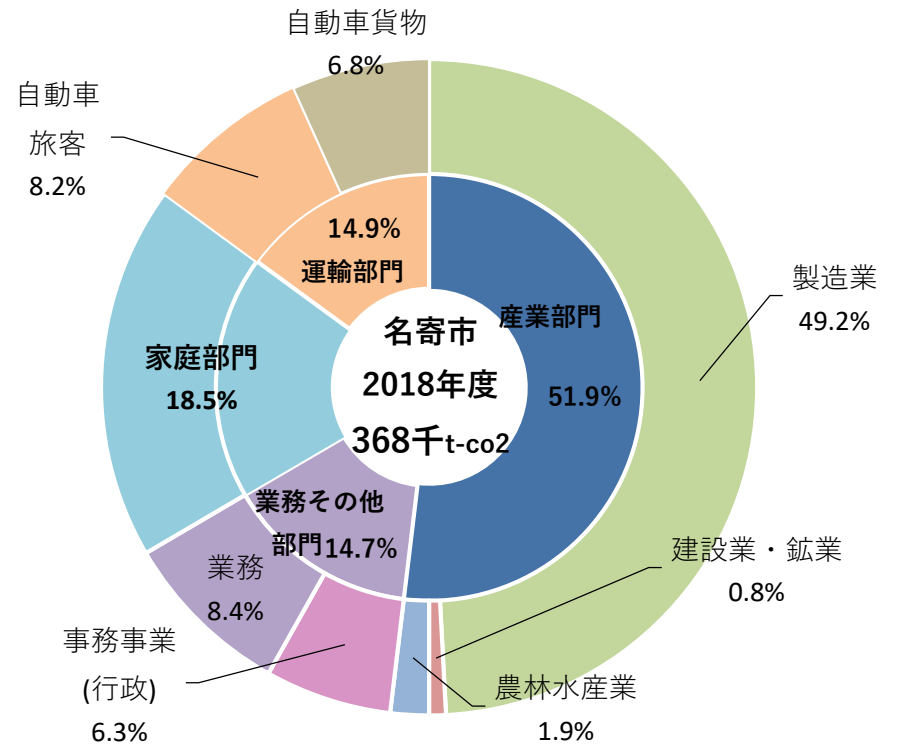


図6 CO₂排出量の試算値 2018(平成30)年

4. CO2排出量の将来推計とCO2削減シナリオ

CO2削減の将来の目標

【将来推計】 ・ 人口減少などを考慮し、将来のCO2排出量を表の通り推計しました（BAU推計値）。
・ 工場の稼働停機により2030年には約60%のCO2削減（406→165千t-CO2）は達成されます。

【削減シナリオと目標設定】

- ・ 2030年の削減目標値を、3つのシナリオで検討し③を採用しました。
 - ①人口減少等BAU シナリオ（人口減少と工場停機の効果を反映したベースとなるシナリオ）
 - ②脱炭素シナリオ1（各部門が一定の削減努力を行う）
 - ③脱炭素シナリオ2（新規取組による排出量増加分35千t-CO2を考慮し、各部門が削減努力36千t-CO2を行う）
- ※新規取組での排出量35千t-CO2（物流倉庫、データセンター等）、各部門の削減努力36千t-CO2（P6削減対策4分野）。

※BAU_人口減少等に伴うCO2排出量の減少値

表2 CO2排出量の試算値(実績値とBAU) 千t-CO2

部門	基準年 H25(2013) 年度	直近 H30(2018) 年度	BAU R12(2030) 年度	③ 脱炭素シナリオ2
合計	406	368	165	200 200→164
産業部門	205	191	13	48
製造業	187	181	5	40
建設業・鉱業	3	3	2	2
農林水産業	15	7	6	6
業務その他部門	64	54	46	46
事務事業(行政)	28	23	20	20
業務	36	31	26	26
家庭部門	78	68	59	59
運輸部門	59	55	47	47
自動車	59	55	47	47
旅客	37	30	26	26
貨物	22	25	21	21

赤字は脱炭素シナリオ2の場合のBAU値

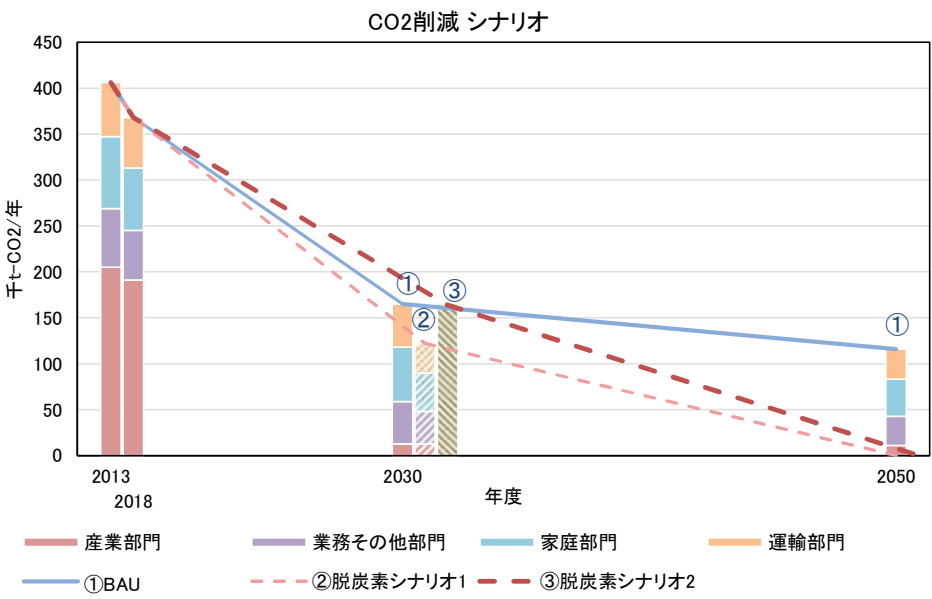


図7 排出量将来推計のシナリオ 比較

5. 削減対策－4分野

再生可能エネルギーがどの位必要なの？

2030年のCO₂**削減目標**に向けて**36千 t -CO₂の削減取組が必要**です。下表①～④の4分野で削減量を想定しました。

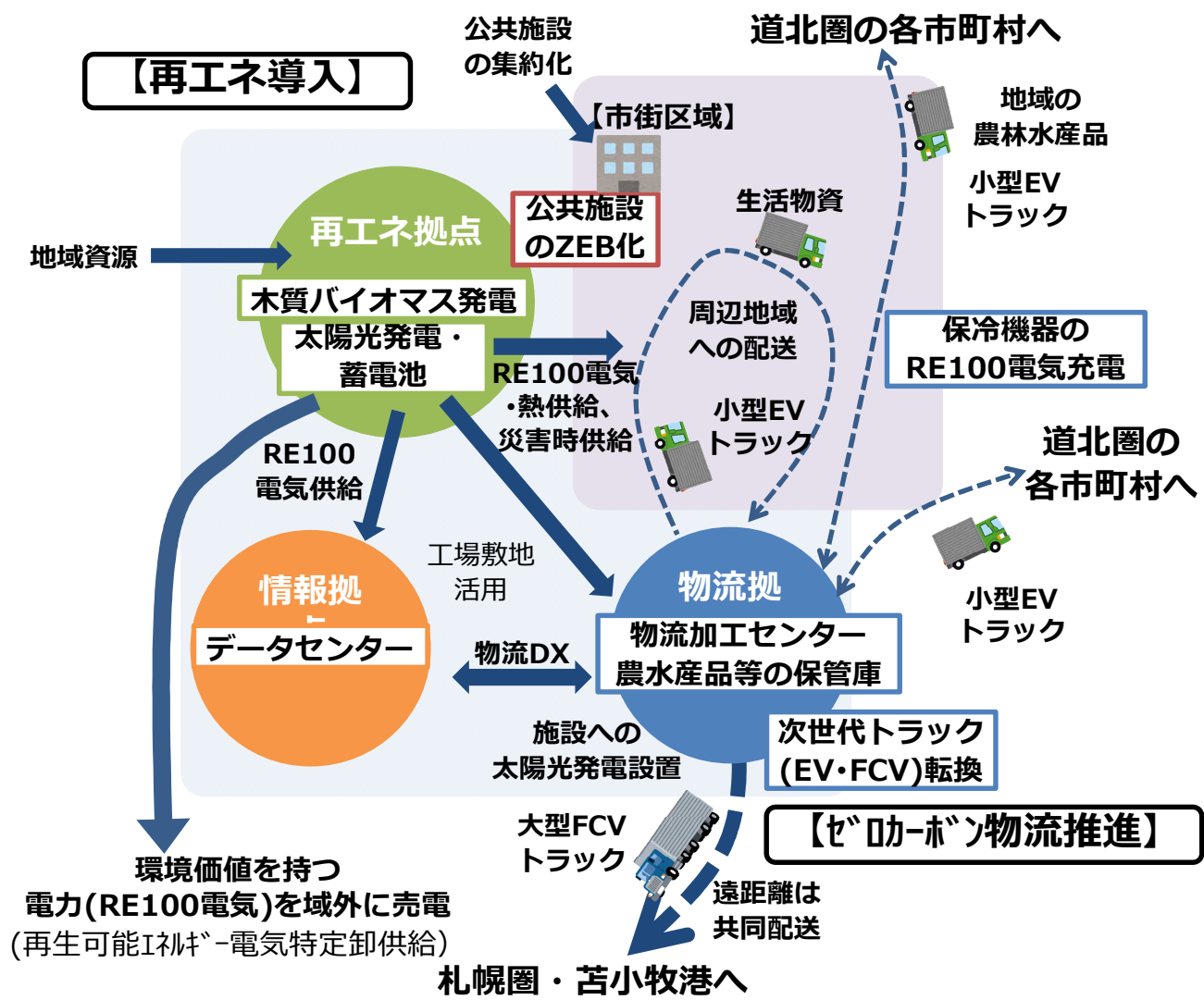
表3 2030年に向けたCO₂削減目標のイメージ

分野	CO ₂ 削減 目標値 千 t -CO ₂	現状	2030年に向けた 具体的な取組のイメージ例
① 行動変容や 省エネ設備の導入	19		節電、建物断熱性能向上、高効率機器、LED導入 ※環境省 地方公共団体における長期の脱炭素シナリオ作成方法Ver1.0より10%削減
② 再生可能エネルギー 電力の導入	14	建物約1.3万棟 市全体の 電力消費量 136千MWh	・ 約640棟（全建物約5%）の建物に6MWの自家消費型太陽光を設置(建物敷地含む) ・ 約4.3MWの自家消費太陽光を約8ha相当の土地に整備し電力供給。 ・ 地域新電力から電力供給12千MWh
③ 再生可能エネルギー 熱の導入	3	約1.4万世帯 住宅約1.1万棟	灯油換算1,200kL分の削減 木質バイオマス、電化等に対応
④ 次世代自動車導入	0.1	旅客自動車 約15千台 貨物自動車 約4.8千台	・ 電気自動車（EV）又はプラグインハイブリッド車（PHV）を約100台普及 （市全体の自動車の約0.5%相当）

6. 将来ビジョン案

再生可能エネルギー導入後、どんなまちになるか

- ・工場敷地等を、再エネ電力供給等の拠点とするとともに、ゼロカーボン物流の拠点機能構築も含め、本エリアが再エネ等を活用した地域経済発展の核となるビジョンをイメージしています。
- ・本ビジョンの達成を目指し、3つの具体的な対策を、4分野の取組によって進めていきます。



対策A

公共施設等のZEB化誘導と市街地コンパクト化

公共施設の更新等において、省エネ設備（断熱、地中熱、高効率設備）や、自家消費型太陽光などの再エネ設備を導入
市民に向けたEVや再エネ等の周知

【行政としての取組推進】

対策B

再エネ電力供給

エネルギー事業者による太陽光発電、木質バイオマス発電等の取組を支援し、地域で再エネ電力の活用を推進。地域新電力等のしくみ活用の可能性を検討

【エネルギー事業者による取組の支援】

対策C

ゼロカーボン物流構築

物流拠点、配送、貨物自動車などでの脱炭素に関わる取組を推進

【事業者による取組の支援】

図8 将来ビジョン案のイメージ

7. 再生可能エネルギーの導入目標と具体的対策 – 3つの対策

3つの対策を進めていくことで、2030年までに再生可能エネルギーの**太陽光発電を10,469kW、木質バイオマス発電を9,999kW**導入することを目指します。この取組で本市の電力使用量（135,578千kwh）の**約59%を再エネ電力（80,000千kwh）**としていきます。

表4 再生可能エネルギー導入目標

	設備容量 kW	発電量想定 千kWh	CO2削減効果 千t-co2
太陽光建物	6,150	4,704	3
（内公共施設想定※1）	（820）	（629）	0.4
太陽光土地	4,319	5,296	3
（内現時点で対象地想定分※2）	（4,200）	（5,139）	3
太陽光 小 計	10,469	10,000	6
木質バイオマス発電	9,999	70,000	45
市内自家消費電力 合計	20,468	80,000	51

※1電力消費量の多い27の公共施設に太陽光設置を想定した試算値
※2太陽光発電を設置可能な市有遊休地を想定した試算値

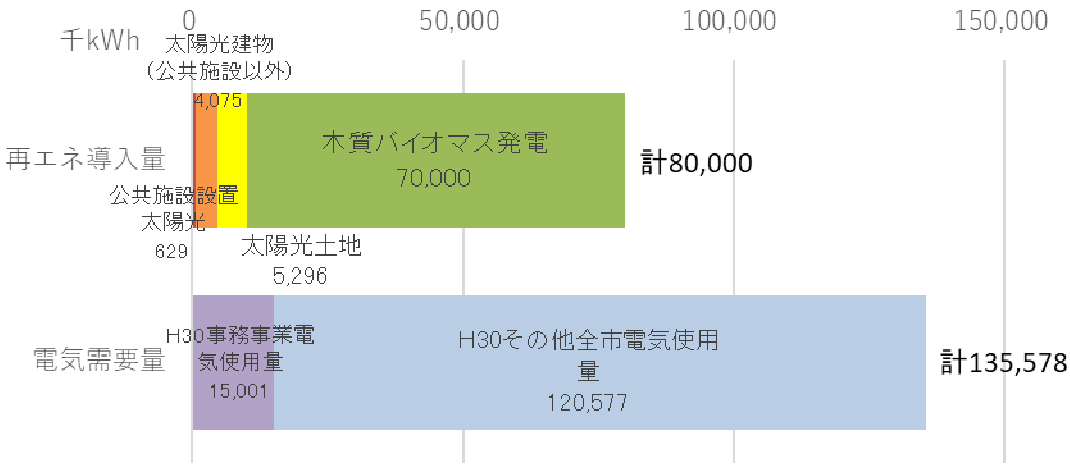


図9 再エネ導入量と電力需要量との比較

■対策 A 公共施設等のZEB化誘導と市街地コンパクト化

- 公共施設の更新等において**省エネ設備**（断熱、地中熱、高効率設備）や、自家消費型**太陽光**などの**再エネ設備導入を検討**します。
- 電力消費量の多い公共施設の敷地に、**PPAなどの事業手法**を用いて、太陽光発電を設置していく事を検討していきます。
- 低炭素まちづくり計画を進め、公共施設の適正配置による**市街地のコンパクト化**を進め、施設や交通移動でのCO₂排出量削減を図ります。
- 公用車への**EV導入**と、充電設備の設置を進めます。



写真 名寄南小学校 敷地への太陽光発電設置事例

■対策B 再エネ電力供給

- ・地域資源を活用した再エネ電力を地域内で使用する事で、地域内での経済循環の確保を目指します。
- ・太陽光発電設置、木質バイオマス発電整備などのエネルギー事業者による**再エネ電力供給の取組の支援**を検討します。
- ・このようなエネルギー地産地消を進める体制として、「**地域新電力**」のしくみ等を検討していきます。

■対策C ゼロカーボン物流構築

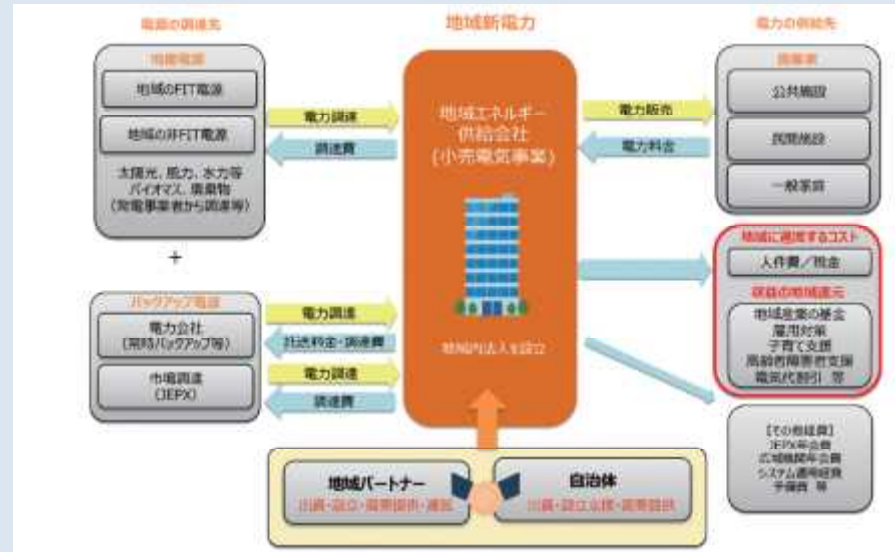
- ・物流事業者による取組を主体とし、情報共有や発信、関係者間の連携支援を図る事で取組を側面から支援していきます。次の様な取組を想定しています。
- 再エネ電力を活用した物流拠点構築として、多量の電気を消費する倉庫等設備を想定し、**再エネ由来電気の調達**（自家消費型太陽光発電の設置やオフサイトPPAなど）を支援します。
- 貨物車両の**次世代自動車（EV等）への転換の取組に対する連携協力**を図ります。

【地域間連携等への配慮】

この他、本市の工場停機や森林吸収量によるCO₂削減効果の**環境価値を、エネルギー需要の多い地域との連携で活用する可能性**も探っていきます。

【参考】地域新電力とは

地方自治体の戦略的な参画・関与の下で小売電気事業を営み、得られる収益等を活用して地域の課題解決に取り組む事業者です。



東京都地球温暖化防止活動推進センター 再エネを活用した新電力虎の巻 概要版より

図10 地域新電力会社の役割イメージ例

【参考】PPAとは

長期の電力料金契約を条件として、太陽光発電設備を契約事業者が設置し、発電した電気を設置した施設で自家消費するしくみです。



環境省サイトより

図11 PPAのしくみについて

R6(2024)												
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
名寄市地球温暖化防止実行計画(区域施策編)【6年間】 R7(2025)～R12(2030)の検討												開始
		・第一回委員会 (委嘱状交付・概要説明等)	・第二回委員会 (各主体での取組等の議論)		・第三回委員会 (第二回を踏まえた議論の続き)		・第四回委員会 (議論経過を踏まえた素案の確認)	・市民講演会(予定) (脱炭素に関する情勢をテーマに講演。 区域施策編の素案及びパブリックコメント 実施の周知)	・パブリックコメント実施(一か月)	・第五回委員会 (パブリックコメントを踏まえた修正)	・議会報告	
名寄市総合計画(第2次)後期計画【4年間】 R4(2022)～R8(2026)												
第4次名寄市地球温暖化防止実行計画(事務事業編)【4年間】 R4(2022)～R8(2026)												
名寄市ゼロカーボン推進再生可能エネルギー導入計画【8年間】 R5(2023)～R12(2030)												

名寄市ゼロカーボンシティ推進委員会 委員名簿

No	区分	推薦団体等	役職	氏名
1	学識経験者	北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 森林圏ステーション北管理部	教授	吉田 俊也
2	学識経験者	名寄市立大学保健福祉学部栄養学科	教授	工藤 慶太
3	商工	名寄商工会議所	専務理事	臼田 進
4	商工	風連商工会	補助員	田上 竜之助
5	商工	一般社団法人 名寄青年会議所	専務理事	泉谷 暖
6	農業	J A道北なよろ	代表理事専務	小川 和則
7	林業	上川北部森林組合	専務理事	田中 英彰
8	エネルギー	上川北部石油業協同組合	副理事長	木賀 義友
9	運輸	ヤマト運輸株式会社 名寄営業所	支店長	佐竹 利幸
10	電力	北海道電力ネットワーク(株) 名寄ネットワークセンター	所長	佐々木 徳暁
11	金融	北星信用金庫	地域支援部長	木全 哲也
12	教育	名寄市校長会	名寄小学校長	大谷 和範
13	建設	名寄建設業協会	理事	五十嵐 幸次
14	公募	公募		若松 衣利加
15	公募	公募		山田 裕子
事務局		総合政策部総合政策課	課長	室 秀樹
		総合政策部総合政策課総合政策係	主査	斉藤 翔馬
		総合政策部総合政策課総合政策係	主事	金ヶ崎 怜
		市民部	次長	紀國谷 康子